

とうもろこしを主原料としたTMRの供給体制の確立

(熊本県：株式会社 アドバンス)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
			○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- ・所在地：熊本県菊池市
- ・代表者：代表取締役 永田 浩徳
- ・飼料作物作付面積：328ha (R2年度実績)
- ・TMR調製：21,889トン/年 (R2年度実績)
- ・雇用者数：9名 (R2年度時点) (パート含む)



飼料混合機

<取組について>

○ 概要

- ・平成19年4月、旭志地区21戸の酪農家で「(株)アドバンス」を設立。播種作業等の効率化を図るため、構成員が所有する農地を一元管理し、とうもろこしの播種及びサイレージ調製、サイレージを原料としたTMR調製を行い、収穫作業をJA菊池旭志中央支所コントラクター利用組合に、配送作業を運送会社にそれぞれ委託し、地域内での飼料生産供給体制の確立を図っている。
- ・TMRはコーンサイレージのほか、乾草（ルーサン、オーツ等）、食品残さ（しょう油粕、豆乳粕等）、配合飼料等を混合して調製。
- ・主体となるコーンサイレージは1期作目と2期作目をそれぞれ同量を混合することにより、年間を通してTMRの成分に変動が生じないように工夫。
- ・調製後のTMRは圧縮してトランスバッグに梱包、密封後40日以上発酵させてから各経営に配送。発酵させることで、品質の品質保持が可能となり、年間を通して良質なTMRを供給。
- ・また、食品残さの利用により、配合飼料量を抑制することができ、コストの削減に寄与。

○ 成果

- ・TMRセンター設立前は、コーンサイレージを1日1頭当り15kgしか給与できなかったが、農地を一元的に管理することで収量が増え、品質も向上し、今では20kgを給与することが可能になっている。
- ・構成員が所有する機械や設備が減ったことや農地の管理に係る労働から解放されたことで、それらに係るコストや労働時間が削減され、飼養管理を重点的に行うことが可能となっている。

